

13



機能生態分野

生物のなぜ：
HowとWhyを探る

機能生態学分野では、光合成を中心に、植物の環境応答や適応について様々なスケールで研究を行っています。「光合成速度が環境によってどのように変化するか」を葉緑体・葉・個体・生態系・地球レベルで明らかにすることや、「ある環境へ適応するためにどのように進化してきたか」を分子レベル・形質レベルで明らかにすることが研究目的です。

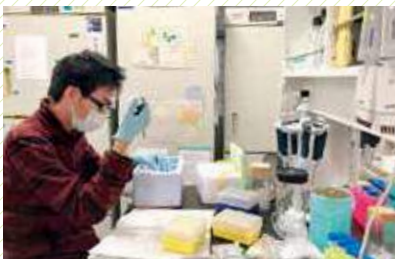
Lab. DATA

植物の適応戦略、植物の環境応答、地球環境変化
彦坂幸毅 教授
小口理一 助教
http://www.biology.tohoku.ac.jp/lab-www/hikosaka_lab/



在学生

Interview



修士2年
吉田 直史

私は生物の形質の進化に興味があり、同一種内でも生息する環境によって異なる形質をもつハクサンハタザオという植物について、その違いをもたらすメカニズムや進化生態学的意義を探る研究を行っています。

topics



コンピュータ内にバーチャルな植物をつくって研究することもあります。現実の植物ではあり得ない形質が植物にとって有利になることがあるのかをテストできます。